

健康と光線

サナモア独自の効果

サナモア光線療法には他の治療では得られない効果があります。それは生命の誕生と進化に関わってきた究極のエネルギー源の太陽光線の作用を応用する治療法だからです。

さて現に生息しているあらゆる生命は、太陽光線の恩恵を受けています。中でもよく知られているのは、食物で補うことが困難なカルシウム調節ホルモンのビタミンDを紫外線が過不足なく補い、自然治癒力の根幹をなすことです。太陽光線には他に即効性の鎮痛効果から痒みを止める効果まで幅広い効果があります。換言すれば、太陽光線的作用を応用するサナモア光線療法は、身体に備わった諸機能を正しく働くようにすることで体質から改善し健康体へ導く

治療法です。したがって病名が付くほどではないが虚弱で健康に自信のない人は健康に自信が持てるようになり、病人では病気を克服する自然治癒力を高める効果があります。

生活習慣にサナモア

私は終わりを告げた二十世紀の医学は、薬の効果で症状をなくす対症療法が全盛を極めた世紀と考えています。薬には効果と副作用があるため、診断が確定しないと使えません。そのため診断と治療が結び付くのが科学的な医学と殆どの人が考えていますが、対症療法は病人自身の自然治癒力が働いて病気が治るまでの時間稼ぎをしている部分が大きなウェイトを占めています。言うまでもなく対症療法に自然治癒力を高める効果はありませんので、高齢者の腰や膝

発行所
〒153-0063
東京都目黒区目黒
4-6-18

サナモア光線協会

年4回発行
会費年500円
東京(03)
3793-5281
3712-5322

の痛みは年だから治らないと決め付け、皮膚病は治ったように見えても再発を繰り返すのが日常化しています。

私は国が肝煎りて進めてきた成人病対策も対症療法の域を脱していないので

ではないかと考えています。検診で早期に見えられた成人病は検査病で症状はありませんが、検査上の異常値を薬で正常にすれば病気の進行を抑制し合併症を防げると早期治療が奨励されました。しかし病気の根本原因は手付かずのままですから合併症は思ったように防げなかったの

他の治療法にない効果

サナモア光線協会の方向性

サナモア光線協会
サナモア中央診療所

医学博士 宇都宮 光明

です。そのため国は生活習慣を見直すことで成人病の発病を防ぐ方向に政策を転換し生活習慣病と呼ぶことを提唱したのですが、常にサナモアを身近に置いて足裏と膝だけでも各10分から20分照射することを生活習慣にすれば、生活習慣病の予防対策として必ず役立ちますので、是非ともサナモアを生活習慣に取り入れてください。

サナモア光線治療院の展開
サナモア光線協会はサナモア光線療法の治療医学における効果をご理解いただく一助にサナモア光線治療院を開院し、限られた時間内でも充分な光線を浴びられるように四台から五台の光線治療器をルーフ内(閉鎖空間)で使って45分間前後照射するルーフ式マルチアーク療法を行っています。

謹賀新年

平成十三年 元旦

サナモア光線協会

(五日より営業します)

二十一世紀の医療の方向性はサナモア光線協会が提唱する予防医学と治療医学の一体化にあります。サナモア光線協会はこの理念を広めるためサナモア光線治療師養成講座を開講し、サナモア光線療法の普及を通して国民の福祉に貢献することを目指して地道な活動を続けます。

第12回

日本療術学会から

宮城県松島海岸・ホテル大観荘
平成十二年十一月五日、六日

シンポジウム

光線療法による
腰治療全療財団光線部門
代表世話人 宇都宮光明

はじめに

一般に療術で用いられるカーボンアーク灯は、温度放射の原理で最も太陽光線に近似したフルスペクトル光線を連続スペクトルで放射する。従ってカーボンアーク灯による光線療法は、すべての作用スペクトルを応用する治療法であり、主として近赤外線放射熱による物理作用、

即ち透過性のある深達性の深部温熱作用に基づく鎮痛消炎効果から、紫外線の光産物を生成する光化学作用、例えばビタミンDの生成によるカルシウム調節作用まで、あらゆる生物学的作用を同時に利用する治療法である。

今回は光線療法による腰治療の要点について説明する。

腰の病氣

表1に腰痛の主な原因疾患を示したが、腰には些細なことが過重な負担になるため、腰痛を

腰痛の原因疾患

- (1) 腰痛症
- (2) ぎっくり腰(急性腰痛症)
- (3) 腰椎椎間板ヘルニア
- (4) 変形性脊椎症
- (5) 腰部脊柱管狭窄症
- (6) 脊椎分離症/脊椎すべり症
- (7) 骨粗鬆症
- (8) 強直性脊椎炎
- (9) 癌の腰椎転移

来たす疾患は多い。腰痛症、ギックリ腰などから、二十歳代から三十歳代の若年層の男性で腰椎椎間板ヘルニアが多い。これは二十歳代になると椎間板の線維輪の弾力性がなくなり亀裂を生じるが、髄核は水分を十分に含み弾力性があるため、線維輪の亀裂から髄核が脱出し神経根を圧迫するためであり、左右どちらから片側の坐骨神経痛の症状を伴う。中高年層では腰椎の老化に伴い椎間板の水分が減少し薄くなるため、椎体と椎体が直接ぶつかるようになり、関節裂隙の狭小化、骨棘形成を伴う腰部変形性脊椎症が多いが、特徴的な症状は動き始めに腰痛を訴えることである。この変形性脊椎症に馬尾神経性間歇性跛行という特徴的な症状を示すものが腰部脊柱管狭窄症である。閉経後の女性で腰にたえず重苦しい痛みがあるようなら脊椎の骨粗鬆症が関わっている可能性があり、椎骨が

楔状につぶれる圧迫骨折を起こすと寝たきりの原因になる。なお腰痛のような深部痛は、痛む部位、痛む範囲がはっきりしないのが普通であるが、痛みが腰に限局しているか、痛みが下肢に放散ししびれがあるかは、原因疾患の鑑別診断や重症度の判断に重要である。

腰治療に対する
光線療法の効果

光線療法は腰背痛を来たす殆どの疾患で腰背痛の緩和に即効的な効果がある。これは腰部に光線を照射すると、主として近赤外線透過性のある深達性の深部温熱作用によって腰部の深部体温が局所的に上昇するため、腰部の局所温の上昇を常温に戻そうとする体温調節中枢のホメオスタシスの作用で腰部を循環する血管が拡張し、血流を増加させるため、炎症に伴う血液循環障害を改善し、筋緊張を弛緩して、即効性の鎮痛消炎効果をもたらすからである。この作用は深部温熱作用を持つ作用

スペクトル量、主として近赤外線量と照射時間の積と相関関係があるため、効果的に使用するためには一回の照射時間を長めにする必要がある。その上で回復使用することで自然治癒力を高め、治癒を促すのである。

加齢による骨の粗鬆化は避けがたい面があるが、骨粗鬆症が病的に進行するとあらゆる骨関節疾患の悪化因子として働くことは言うまでもない。光線療法には紫外線の7-デヒドロコレステロールからビタミンDを生成する特有な作用があり、ビタミンDがカルシウム調節ホルモンとして骨粗鬆症の進行を予防することは周知の事実である。加えて筋力の増強を始めあらゆる生活習慣病を予防する作用があるので、光線療法に特有なビタミンD生成作用は健全な高齢化社会を支える一助になり、腰について言うなら骨粗鬆症が原因になる腰痛の治療から病的な椎骨圧迫骨折を起こして寝たきりになるのを予防する効果がある。

(2ページからつづく)

なおビタミンDは光線医学の観点から、基本照射30分で必要量は確保できると考えられる。

腰治療の要点

光線療法は家庭療法としても用いられるが、この際には一台の治療器で治療されることが多い。この際の腰治療の基本的な照射法は、腰部の血流の増加に基づく鎮痛消炎効果、筋弛緩効果を主眼にするため、まず足裏、足甲、ふくらはぎ、膝前後などに照射して下半身の血行を全体的に促してから腰部に照射すると効果を得やすい。なお前述したように鎮痛消炎効果は近赤外線量と照射時間の積との間に相関関係があるため、照射時間は一箇所最低でも10分以上、足裏や腰は20分から30分以上照射し、反復継続することで回復力を促すようにする。

一方、光線療法を専門とする治療院では、限られた治療時間内に効果的な治療を行うため、通常、多灯照射が用いられている。多灯照射には、照射部以外

は覆いをして行う方式と、完全に密封した閉鎖空間で行う方式がある。前者をアンルーフ式マルチアーキ療法、後者をルーフ式マルチアーキ療法と呼んでいるが、後者はアメリカのケロッグがエジソンの発明した白熱電灯を用いて一八九四年に創案した温熱療法、即ち頭部のみを外に出してトンネル状の閉鎖空間内で臥位になり、白熱電灯を点灯して閉鎖空間内の温度の上昇による熱気浴と透過性が大きく

深達作用のある熱線の熱作用を利用する全身電光浴と呼ばれた原理を取り入れた光線療法である。この全身電光浴は白熱電灯を使ったため紫外線は得られなかったのであるが、カーボンアーク灯による多灯照射なら同時に紫外線の光化学作用を利用できる利点がある。

治療院で家庭療法に対し強化療法と位置付けて行っている治療法である。腰治療の場合、同時に五台の治療器を足裏、膝前後、腰、腹にセットし、患者の年齢、病状、一般状態、治療に伴う反応などに注意しながら原則として30分から60分照射する。この間、診察所見によって照射時間を調整し、照射部位を変更、追加することがある。

の50度以下であるが、湿度が低下するため、副交感神経の刺激作用と透過性のある深達性の光線の深部温熱作用によって汗腺、皮脂腺の分泌は著しく促され、気持ち良く大量に発汗するが、紫外線の殺菌作用で汗の成分が分解されないため汗臭くないのが特徴である。

表2にルーフ式マルチアーキ療法の温熱療法としての利点をまとめた。

総括ならびに結語

光線療法による腰の治療は、腰部の血行を促して炎症に伴う循環障害を改善して炎症物の吸収、排泄を促し、筋肉を弛緩し、痛みやしびれなどの症状を和らげることから始まるが、継続反復することで自己の治癒力を引き出し、骨や筋力を強化し、治療に導くことにある。光線療法はこれらの点で効果的に作用することを述べたが、最後に腰治療には光線療法に加えて、腰痛体操やウォーキングで腰部や下半身を鍛えることの重要性を強調したい。

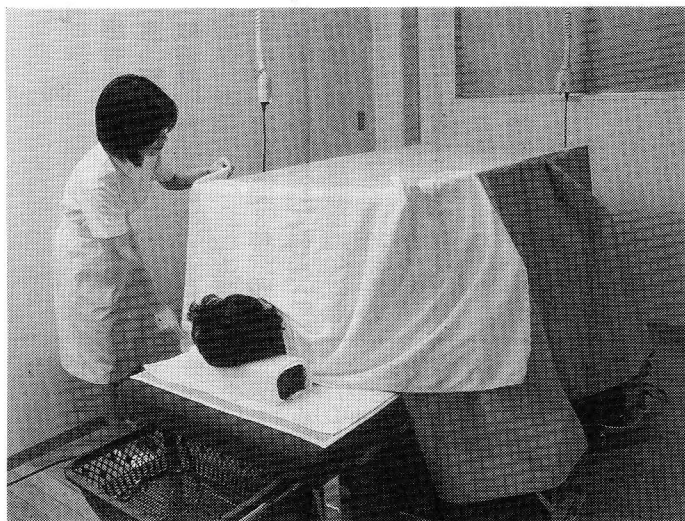


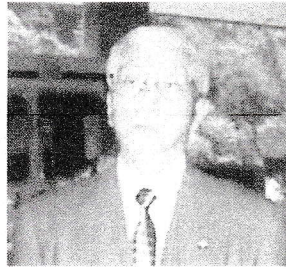
表2

ルーフ式 マルチ・アーキ療法の温熱効果

- (1) 光線の温熱作用を最大限に利用する。
- (2) ルーフ内は乾熱で温度は熱気浴の半分以下であるが、湿度は低下するため、近赤外線の汗腺、皮脂腺の分泌を促す作用で大量に発汗する。
- (3) 本療法で全身的に体温が上昇するため、照射部の深部体温を均一化する体温調節作用が強く働き、照射部の血管拡張、血流増加を著しく促進する。その結果、炎症に伴う循環障害を改善し、筋肉を弛緩し、炎症物の吸収、排泄を促し優れた鎮痛消炎効果を認める。
- (4) 体温の上昇はホルビネ模物質の分泌を促し、鎮痛消炎効果を高める。

第12回

日本療術学会から

宮城県松島海岸・ホテル大観荘
平成十二年十一月五日、六日社団法人 神奈川県療術師会
海渡 一二三

サナモアで

子宝に恵まれる

はじめに

生殖可能な年齢の夫婦が正常な夫婦生活を営んでいるにもかかわらず、3年以上妊娠しない場合を一般に不妊症と見ますが、原因は男性不妊因子と女性不妊因子に大別される。今回、男性不妊因子はなく、女性不妊因子で妊娠は困難と診断された二症例に光線療法を行い、妊娠に成功したので報告する。

症例

患者1 30歳 女性 主婦

「主訴」不妊

「既往歴」特記すべきことはなし。

「現病歴」不妊期間3年、卵管通過障害と診断されている。

「初診時所見」患者は顔色は悪く疲れ切った様子で、冷え性のため手足は異常に冷たかった。

患者2 41歳 女性 主婦

「主訴」不妊

「既往歴」慢性腎炎

「現病歴」不妊期間9年、月経は不規則で、排卵障害と診断されている。なお妊娠で慢性腎炎が悪化する可能性を指摘されていたが、患者はあくまでも子供が欲しいと来所された。

「初診時所見」患者は痩せて弱々しく、病歴から妊娠、分娩の希望はかなえられそうにないと治療を始める前に話したが、それでも治療を希望するので、まず三ヶ月間治療して経過を追うことにした。

治療方法

カーボンAとBやBとDを組み合わせて用い、四台ないし五

台の治療器を使って多灯照射した。治療は側臥位で臀部、腰、顔、膝に各10分、次いで後頭部、下腹部、膝裏、足裏に各15分照射してから、仰臥位で集光器を付け、左から甲状腺部、右から肩、左から腰、右から膝、左から足首に各10分照射、次に反対方向から各10分照射した。なお症状によって照射部位を追加した。

結果

患者1は毎日治療を続けて三ヶ月日に妊娠が分かり、それからも治療を続けたが、軽いつわりがあっただけで順調に経過し、元気な赤ちゃんを出産した。産後も継続して治療をしたが、冷え性は著しく改善し、母乳の分泌も良好であった。その後、年子で3人の子宝に恵まれ、今は家族の健康管理に光線療法を愛用している。

患者2は治療を始めて二ヶ月頃より自覚的に改善の兆しが表れ、三ヶ月後には少し太り気力が出てきた。患者の希望でその後も治療を続けたが、八ヶ月後にムカムカすると言うので産科

で診察を受け妊娠が分かったのである。その際、医師から腎炎のため妊娠を継続できる確率は五分五分と判断を求められたが、患者は妊娠の継続を強く希望して治療を続けた。その結果、女児を無事出産し大いに感謝された。産後も治療を続け見違えるほど元気になった。

考案ならびに結語

既婚婦人の約10%前後は不妊に悩んでいるとされるが、原因の2/3が女性不妊因子、すなわち排卵、受精、着床と言った過程のどこかが原因とされる。演者は光線療法は生理的に内分泌機能を調整し、回復力、治癒力を増強して不妊因子を治すと考え、これまで不妊症の治療に応用し、不妊症に悩んだ人が妊娠に成功した経験を数多くしてきた。

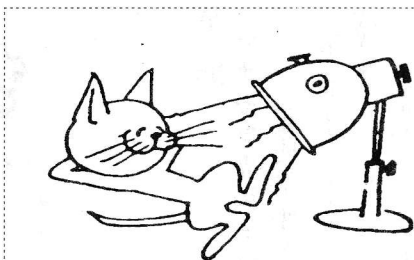
患者1は卵管通過障害と診断されたが、女性不妊因子の約40%は卵管通過障害によるとされ卵管不妊と言われる。その理由は卵管が上行感染の経路になりやすく、そのため卵管炎や骨盤

腹膜炎を起こし、卵管の癒着、閉塞を容易に起こすためである。しかし富士見高原日光療養所において日光療法で多くの業績を残した正木博士は、「子宮周囲に慢性の病気があって卵管が不通になった不妊なら、日光療法で妊娠する可能性がある」と記述されており、この患者の場合も卵管が開通したと考えている。

患者2は高齢で不妊期間が9年と長く、妊娠しても慢性腎炎が悪化すれば妊娠を継続出来ない事態も予測されたため、治療前に希望はかなえられないかも知れないと話したが、患者の強い希望に押され、子宝に恵まれる可能性はゼロではないことにか、互いに全力を尽くすことを約束して治療したのが実を結んだのである。

なお二症例とも妊娠が分かっただけから光線療法を続け、妊娠悪疽、妊娠中毒症とも極めて軽く済み、産後の回復も順調に経過した。

以上、子宝に恵まれた二症例を報告した。



— 治 験 例 報 告 —

☆腰 椎

椎間板ヘルニア

症例 25歳 男性 大工

症状 仕事中に重い物を持ち上げた際、突然、腰に激しい痛みを自覚、独りで歩行できず、人に支えてもらい帰宅した。翌日も同様の状態で、二日間、臥床にて様子をみたが軽快しないため、近医の整形外科を受診、そこで、腰椎椎間板ヘルニアと診断され、消炎鎮痛剤と筋弛緩剤の内服で様子を見るように言われたが、同僚に光線療法を勧められ来所した。

療法経過 治療はBカーボンを使用し、腰部を30分照射した後、集光器を用いて患部を30分重複

して照射した。次に、A Bカー

ボンを使用して、腹部を10分、膝を10分、足裏を20分照射。治療後、痛みが和らいできた感じがすると言って帰宅した。翌日から自宅での光線療法を開始したが、基本照射も含めて一日に二回は照射すること、特に患部の腰だけは、朝、昼、夜と一日三回照射することを指示した。

一日毎に痛みは軽くなり、四日目には仕事に復帰し、軽作業は可能となった。一週間後、それまで時々感じていた重苦しい痛みも消失。毎日、自宅で腰部を一時間以上照射する治療を一月続けた頃、どんな作業も支障なくできるようになった。現在、発症後二年になるが、再発は認

☆胃癌の転移

症例 73歳 男性 会社社長

症状 一年前、胃癌を指摘され胃全摘手術を受けた。術後二年目に入り、食欲低下、体重減少を認め、病院では、食道と肺の一部に転移を認めると診断されたため、サナモア光線療法で治したいと来所された。

療法経過 平成十一年八月、三台または四台の多灯照射で開始

められない。

神戸市 ウエノ光線療研
上野 健太郎氏報告
TEL 〇七八—三三—一三五八

☆肩関節痛

症例 55歳 女性

症状 以前から職業柄、肩を使うことが多く、肩こりで困っていたが、最近、肩の痛みが増強したため整形外科を受診。レントゲン検査にて、肩関節に突出した軟骨を認め、それが当たる痛みを感じると説明を受け、医師から手術を勧められたが、本人は手術がいやで、サナモア光線療法で治したいと来所され

サナモアカーボンの類似品にご注意下さい

サナモアA(緑印)、B(赤印)、C(青印)、D(黄印)カーボンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」ともどもご愛用者各位の御信頼を戴き、全国津々浦々まで高い評価を受けておりますことはご存じの通りです。

ところが他社製カーボンに「光線療法学」をセットしたり、当研究所が独自に広めたカーボンの呼び名のA、B、C、Dや緑印、赤印、青印、黄印を勝手に流用したり、あたかもサナモアと同じと見せ掛けて販売している業者がいます。もとより、このような道理にもとる人をあざむく行為は断じて許されるものではありませんが、当研究所としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任は持たせませんので呉々もご注意下さい。

なおカーボンについて疑問の点がありましたらお問い合わせ下さい。

(株)東京光線療法研究所

た。

療法経過 治療はA Bカーボンを使用し、肩関節を前後から照射開始したが、約20分経過した頃から、徐々に痛みが強くなってきたため、B Bカーボンに変

照射した。治療は、毎日行ったが、徐々に食欲も改善し、調子もよくなり、翌年の二月には、体重が三キロ増加し、四月には五キロ増え、八月に施行した病院の検査でも異常は認めなかった。現在はとても良好に経過しており、当院にも時々通院されている。

川崎市 東京光線治療院
海渡 一二三氏報告
TEL 〇四四—七三—一五〇六七

えて、照射した。痛みが消失するまで、約2時間照射し、楽になったところで、A Bカーボンで、足裏、足首、膝、腰、背、腹を各20分ずつ、二、三台で照射し、さらに肩をB Bカーボンで20分照射して初日の治療を終了した。一週間に二回、計六回の治療で、痛みはほぼ軽快し、夜もよく眠れるようになった。以後、在宅治療を希望されたため、B Cカーボンで治療するよう指示したが、半年後に来所された際には、痛みは全くなく、通院もされていなかった。

福岡県春日市 育美健康光線療研
山崎 いく子報告
TEL 〇九二—五八—二〇三九
五七—一五七三

サナモア光線治療院 順調な滑り出し

サナモア便り

vol.4

宇都宮 正範

で、ご来院をお待ちしております。

平成十二年一月一日に開院した治療院には、ご愛用者を中心にご多くの方が来院され、順調な滑り出しを見えています。患者さんは、当初の予想に反し地方から来られる方もいます。これも、健康状態や慢性の病気で苦しんでいる人のために全力を尽くします。

第三期

サナモア光線治療師

養成講座を開講

第三期サナモア光線治療師養成講座を、十一月十七日、十八日、二十四日、二十五日、十二月八日、九日の六日間、サナモア

ア光線治療院で開講しました。今回は、東京近郊の四名に、神戸市、宮崎市、岡谷市からの三名を加えて七名で行いましたが、今年も、随時開講する予定でございます。

第四回

「光と熱研究会」の

お知らせ

サナモア光線治療師、サナモアご愛用者を対象に医療に関連した講演や治療例の報告を中心とした研究会を開催しますので、是非ご参加ください。

日時：一月二十日(土) 午後二時
場所：サナモア光線治療院
三階会議室

治療院紹介

松戸光線治療院(写真上)

(十一月十五日開院)

電話：〇四七-三六八-四七三七

住所：松戸市上本郷四一〇一

交通：JR北松戸駅から徒歩十五分

院長：田村 元一先生

一言：一人一人を大切に治療させて頂きます。

あさか治療院(写真中)

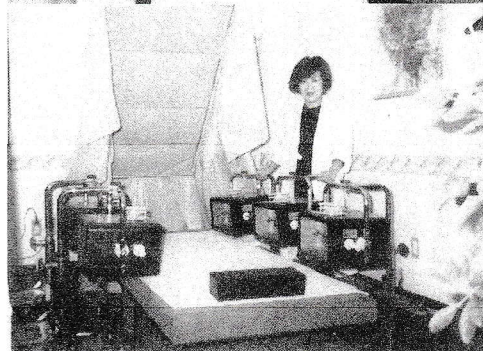
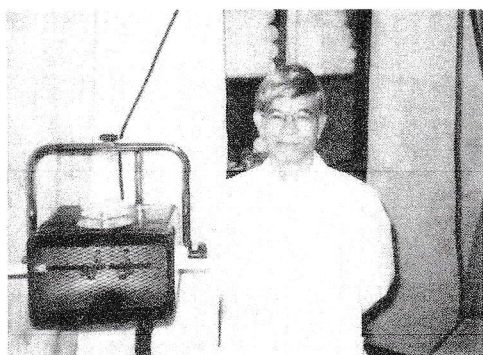
(十一月二十五日開院)

電話：〇四八-四七四-四七八二

住所：朝霞市戸二一九四

とぎわハイム一階

交通：東武東上線志木駅から徒歩十分



募集

サナモア光線治療師 サナモアカウンセラー

当協会の趣意に賛同され、サナモア光線療法の普及にご協力頂ける方、治療院の開業を検討なさりたい方は、サナモア光線協会までお問い合わせください

〒153-0063
東京都目黒区目黒4-6-18
TEL (03) 3793-5281
3712-5322

Office Mate

サナモア光線治療研究所

(写真下)

(十二月九日開院)

電話：〇七八-七八-一九三〇

四

住所：神戸市垂水区西舞子四一

二十七-十八

ハウス大蔵山西五〇八号

交通：JR舞子駅よりバス三分

「舞子坂二丁目」バス停

下車徒歩二分

院長：増本 典子先生

一言：光線治療の優れている点を出るだけ多くの人たちに伝えたい。

ご来院、ご紹介をお待ちしております。

はじめに

人類の生活様式を二変させた二十世紀が幕をおろし、新しい世紀が始まります。この百年、医学を含めたあらゆる分野において科学技術は、とてつもなく進歩しましたが、地球環境をがらりと変えてしまつたような環境汚染や人類に功罪両面の影響をおよぼす可能性のある遺伝子操作など、将来に対する不安材料が山積しています。昨年、米国において、女性モデルの卵子のインターネット上での競売が行われ、話題となりました。遂に卵子までもが、ビジネスの対象になってしまったのかという感じが、ホームページ上には、八人のモデルの顔写真が掲載され、競りは約百六十万円から始まり、上限は約千六百万円に設定されていました。さらに、あつたことかクローン人間を造る計画を発表した団体もあり、最先端の科学技術を、人類の欲望のまま利用することに対し、歯止めをかけなければならぬ時期にきています。

遺伝子と環境因子

遺伝子の構造は、一九五三年、

ワトソンとクリックによって解明されましたが、彼らは、遺伝子DNA(デオキシリボ核酸)が二重らせん構造をとっており、巧みな仕組みで複製される機序を明らかにしました。DNAには、顔の形や体格、将来の病気との関係など、膨大な情報が書き込まれており、現在、世界の研究者は、協力してヒトの遺伝子配列を解き明かしています。そして次には、遺伝子地図を元に、

遺伝と環境

遺伝子操作の光と影

サナモア光線治療院

宇都宮 正範

た遺伝子を有する

遺伝子異常と病気の関係を調べ、遺伝子治療に結びつけようとしている訳ですが、なかなか簡単にはいかないでしょう。なぜなら、病気は、遺伝因子と環境因子が複雑に作用して発症するので、たとえ病気の遺伝子が特定されたとしても、それだけで、病気の治療に直結するわけではなく、生活習慣を含めた環境も考えなければならぬからです。

遺伝子検査の弊害

すべての遺伝子配列が明らかに

され、病気の原因遺伝子が特定されたらどうなるのでしょうか。実際に、すでに米国では、数百もの病気の遺伝子検査が実用化されていますが、万が一、この検査で病

気の遺伝子が見つかったとすると、医療保険の加入や就職に不利に働く可能性があるでしょう。また、遺伝子の情報をもとで偏見や差別を生み、自分が将来かかる可能性のある病気を、患つ前から心配し

れてくる子供が遺伝病を有する確率まで分かつてしまつことになるのです。

人類の危機

米プリンストン大リー・シルバー

教授は、著書「複製されるヒト」の中で、人類は、将来、優れた遺伝子を集めた「ジーン・リッチ」階層と持たない「ナチュラル」階層に二極化すると述べています。

私は、未来の人類が遺伝子操作を行い、優れ

なければならぬことになりまふ。実際に、米国では、乳癌の遺伝子診断を行った女性が、将来、乳癌にかかる可能性が高いという事実を知り、乳房切除に踏み切ったケースも出てきているそうです。そして、恐ろしいことには、髪の毛一本で個人の究極のプライバシーともいえる遺伝子地図を調べることが可能なのです。もし、恋人の髪の毛を手に入れば、相手が将来かかる可能性のある病気や、生ま

子供を競って造つとしたなら、その時、人類の歴史は、終焉の時を迎えると思います。なぜなら、地球上に存在する生物は、環境の変化に対応し生き延びるために、突然変異を繰り返し、少しでも遺伝子のバリエーションを増やすように努めているからです。もし人類が、自らの手で遺伝子をコントロールすることによって、遺伝子のバリエーションが少なくなる方向に進むとしたら、予期せぬ環境

の変化が発生した際には、均一化された遺伝子ゆえに、生き延びられる人類はいないことになりまふ。

新しい世紀

二十世紀の医学は、人体をパーツに分けて、臓器から組織へ、そして細胞から遺伝子へと研究を進めてきました。そして、新しい世紀は、遺伝子に関連した様々な研究が行われることと思いますが、恩恵だけを人類にもたらすとは限りません。誤った使い方をすれば、人類の未来を危くする恐れもあるのです。

サナモア光線協会は二十一世紀は、生命が地球上に誕生した奇跡を振り返り、人類を含めた生物全体の生態系を守り、本来あるべき姿に近づける必要があると考えます。つまり、生物が進化し、生きていくことに必要不可欠である太陽の恩恵に感謝し、光線療法の普及に努めます。「木を見て森を見ず」といったことにならないためにも、人類は地球上に生きる生物の一員であることを忘れてはならないのです。

「はつらつさん」

には

ジョイントカーボン

サナモアカーボンは医療用として最善の効能効果がある光線を放射しますが、旧来よりご愛用戴いている燃え残しがあるカーボンとジョイント(接合)できるため燃え残しがないジョイントカーボンがあります。

ジョイントカーボンは全自動家庭用光線治療器「はつらつさん」が照射時間を5分刻みで60分まで自在に設定でき、ワンタッチスタートでカーボンを自動送りするため安定した光線を放射する利便性を支えます。すなわちカーボンの残りが6cm前後になったら次のカーボンとジョイントするとスムーズに燃え移り安心して治療に専念できます。なお「はつらつさん」にジョイン

トできないカーボンを使い短くなったことに気付かないとローラーから外れて飛ぶことがありますので、安全性を保ち、事故を未然に防ぐために絶対に使わないで下さい。

サナモア光線治療院 よりお知らせ

☆無料医療相談のご案内

サナモア光線治療院では、サナモアご愛用者の無料医療相談を受け付けます。なおサナモア未体験のお知らせで虚弱体質や病気で悩んでいる方でもご紹介があれば無料相談に応じますのでお気軽にお申し付けください。

日時 毎週 水・木曜日

午後2時～4時(要予約)

担当 サナモア光線治療院顧問

医学博士 宇都宮 光明

☆ルーフ式マルチ

アーク療法

施設の募集

医院、治療院を経営している方で、ルーフ式マルチアーク療

ジョイントカーボンはサナモア8号器、7号器でも使えますが、燃え残しがないため却って長時間使えホルダーを傷めませんので、価格差以上に得なカーボンとしてお勧めします。

法の導入をお考えの方を募集します。ただし既にサナモアによるルーフ式マルチアーク療法を導入した治療施設のある地域ではご希望に添えない場合もありますのでお問い合わせ下さい。

☆「はつらつさん」

2号器の貸し出し

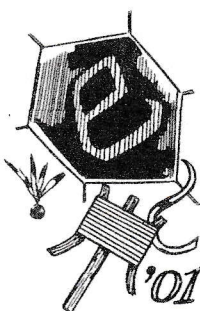
通院が不可能なご病人、あるいは多忙で毎日通院することが出来ない方のため「はつらつさん」2号器の貸し出しをします。

料金 一日 1,500円

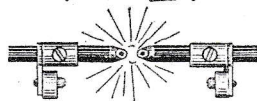
カーボン代は別途

保証金 100,000円

(送料はご負担願います。)



サナモア



Senamora

サナモア光線協会

趣意書

サナモア光線協会は、太陽光線こそ健康を増進する自然の恵みの源泉であり、生命力を高めて病気の予防、治療に効果があるとの観点に立ち、太陽光線に近似したフルスペクトル光線を放射するサナモア光線療法の啓蒙、普及活動に努めることで、国民の健康、福祉に貢献します。

サナモア光線協会は、サナモア光線療法に対する認知と評価を高めるため、一、季刊紙、「健康と光線」の発行。
二、サナモアカウンセラーの募集と育成。
三、サナモア光線治療師の募集と育成。
の事業を行います。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

「健康と光線」の購読者を募集します。

また事業の詳細はお問い合わせ下さい。

〒153-0063 東京都目黒区目黒4-6-18

サナモア光線協会 TEL (03) 3793-1528

(03) 3771-5332

(本紙の無断転用を禁止します。)